

県民講演会について

2023年7月21日

第62回研究発表会および現地見学会実行委員会

岐阜大会では、『くらしを守る土木のちから～今宵 高山で考えよう 感じよう～』を大会のフレーズとして、広く一般のみなさまに土砂災害への防止対策をお知らせすることで、地すべりに対する理解を深めていただき災害対応につなげていくことを目的のひとつとしています。

日本地すべり学会（学会）は、「地すべり等の斜面変動及びこれに関連する諸現象の研究ならびに当該諸現象に起因する災害の防止対策に関する研究者及び技術者相互の交流を図り、その有機的な連携のもとに学術的、総合的な調査研究に関する事業を行い、その成果を広く内外に公表し、もって科学技術の振興とより安全な地域環境の実現を目指し、国民福祉の向上に寄与する」ことを目的とした学会です。

学会は、地すべり、崩壊、土石流、岩石崩落など、様々なテーマで研究委員会・研究発表会・普及講演会・見学会・外国人研究者講演会などの開催、学会誌の編集・発行、災害調査団の派遣など、さまざまな活動をしています。

現在、大学、研究所、官公庁、コンサルタント企業などの研究者・技術者などの個人・団体会員約2000名で構成され、北海道、東北、新潟、中部、関西、九州の6地方に支部があり、各地域に根ざした活動を行っています。

日本地すべり学会「第62回研究発表会及び現地見学会」の催しのひとつとして、令和5年9月19日（火）18:00～20:30に高山市民文化会館の大ホールにて、どなたでも自由にご参加いただける県民講演会を開催いたします。

第一部：18:00～18:20

「響奏～和の心を大切に～」

岐阜県立飛騨高山高等学校 太鼓部皆様

第二部：18:20～19:20

講演1 「斜面防災を一緒に考える～「結び」と「解き」を念頭に～」

岐阜大学工学部 特任教授 八嶋 厚氏

第三部：19:30～20:30

講演2 『プロが写真で伝える土木の現場』

写真家 山崎 エリナ氏

寿建設株式会社 代表取締役社長 森崎 英五郎氏

https://japan.landslide-soc.org/2023gifu/2023_kenmin_poster.pdf

※参加費は無料です。大会ホームページのポスターに講演概要を掲載しております。